

つちまる通信²⁵



郵便局のバイクが ご当地ナンバーをつけて一斉に出発!

5月17日、「ご当地ナンバープレート」をつけた郵便局の配達バイクの出発式に行ってきたよ。配達バイク51台をぼくのデザインの数ナンバープレートに付け替えてくれたんだ。これからは、ぼくのついたバイクがみんなの大切な郵便物を届けにいくね。まちなかを走っていたら、見てね♪



つちまるのうたのタイトル・一緒に歌ってくれる子どもたち大募集!

つちまるのうたのタイトルと一緒に歌ってくれる子どもたちを募集しています! 作詞・作曲は土浦市出身のアーティスト関隆浩さん(fromかぐら)です。つちまるが全国に元気を発信できるように、つちまるにぴったりなタイトルを、皆さんのイメージで創ってください。そして一緒に歌いましょう。

応募資格／①歌のタイトル…市内に居住または通勤・通学している方②歌ってくれる子どもたち…市内に居住する小学生以下のお子さん

※②は7月下旬の録音とキラキ祭に参加できる方

応募方法／①、②を明記の上、住所、氏名、性別、年齢、電話番号を記入し、ファクス、またはメールで

募集期間／6月10日(月)～6月30日(日)

結果発表／

7月上旬にファクスまたはメールで

※全歌詞は、関さんブログ(<http://ameblo.jp/kagura-takahiro/entry-11536940321.html>)をご覧ください。

申問 ふれあいまちなかライブ土浦 ☎029-826-6390
☎029-827-3603 ✉ka12ts@gmail.com

つちまるのうた

つぶらな瞳の男の子
れんこん畑で耳飾り
桜ブローチ 霞スタイ
ボクの名前は“つちまる”だ
つちまる だいすき まんまるスタイル
つちまる だいすき みんなでスマイル
キラキラ トキメキ届けよう
明日へと この街から

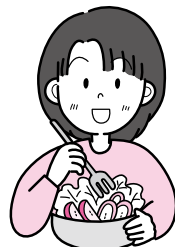
2番へ…

材料・分量(3人分)

豚薄切り肉	240g	【ドレッシング】	
キュウリ	1本	酢	大さじ4
玉ねぎ	中1個	サラダ油	大さじ1
セロリ	1/2本	粒マスタード	小さじ1・1/2
黄パプリカ	1/2個	塩	小さじ1/2
ミニトマト	6個	こしょう	少々

作り方

- ①玉ねぎは薄切り、セロリは千切りにして水にさらし、水気をよく切る。
- ②キュウリ、黄パプリカは乱切りにし、ミニトマトは半分に切る。
- ③豚肉は食べやすい大きさに切り、沸騰したお湯でゆでる。
- ④ドレッシングの材料Aをよく混ぜ合わせておく。
- ⑤①、②、③をドレッシングでよく和え、盛り付ける。



1人分の栄養素

エネルギー	189kcal
たんぱく質	14.1g
脂質	10.7g
カルシウム	31mg
食物繊維	1.6g
塩分	0.9g

食生活改善推進員



五十嵐榮子さん 石毛こうさん

食生活改善推進員の 健康料理

No.97 豚肉と彩り野菜の さっぱりマリネサラダ

今回は、じめじめした梅雨を吹き飛ばすさっぱりとしたメニューをご紹介します。

豚肉はゆでているので余分な脂肪分をカットすることができます。ドレッシングは、酢の酸味、ピリッとしたマスタードをきかせているので、塩の量を減らしてもあまり気になりません。この他にも酢には、主成分である酢酸により細菌の増殖を抑える作用があります。ピクルス、らっきょう漬け等の酢漬もこのパワーを利用した一例です。冷蔵庫のなかにあるお野菜でもおいしくいただけるメニューです。ぜひ酢のパワーで“すっきりさっぱり”に仕上がった一品をお試ください。

ふたつの「関之信肖像」

容貌にはその人の職業や性格が現れるといえます。

「関之信肖像」から関流砲術(砲術とも)の祖、八左衛門之信(1596～1671)の当時の姿を忍ぶことができます。

之信は寛文11(1671)年6月、78歳で没しました。肖像の之信は、張り出した額が特徴的で、引き締まった厳しい表情です。晩年の姿らしく顔には多くのしわが刻まれています。動きやすいよう素襖の袖をからげ、左膝を立てて座り、右手には火縄銃、左手には火縄をもった砲術家の姿で描かれています。



「関之信肖像(軍兵衛家)」

なぜ、ふたつあるのでしょうか。之信没後、息子2人はそれぞれ別家し、役割を分担して土浦藩に仕えました。長男昌信は土浦で鉄砲を指南し、子孫は代々昌信の通称軍兵衛を名乗りました(軍兵衛家)。次男勝信は江戸で鉄砲を教え、子孫は代々勝信の通称内蔵助を名乗りました(内蔵助家)。内蔵助家は江戸で土浦藩士だけでなく他藩の

之信は17歳のとき、当時米沢藩に仕えていた砲術家丸田盛次から火薬と張筒の秘伝を授けられ、22歳で免許(印可状)をうけました。若い頃から火縄銃の厳しい鍛錬を続けたからでしょうが、老年になっても体つきががっしりしていることが画面からも伝わってきます。

実は、博物館には「関之信肖像」が2点あります。絵師の名こそ書かれていませんが、ふたつの肖像はとてもよく似通っており、同じ絵師が描いたようです。



「関之信肖像(内蔵助家)」
(土浦市指定文化財)

え、床の間には「絵そ(絵像)」をかかけて「麦切」を供えました。麦切とは大麦の粉で作った麺で、うどんやひやむぎより短く切り、そばなどと同様つゆをつけて食べます。陰暦6月7日は現在の7月中旬です。冷たい麦切はごちそうだったことでしょう。

前夜には肖像を飾った部屋で茶会を開きました。

内蔵助家では之信の命日に肖像を飾っていました。

六月七日

一清涼院様御忌日ニ付御膳相備申候、御絵そうへ麦切相備前夜御茶湯致候

(年中行事(天保10年)「関家文書」)

清涼院(之信の戒名)の仏前に膳を供

内蔵助家では之信だけでなく、9月26日香雲院(二代勝信)、12月23日浄雲院(三代逸信)、3月8日清運院(四代依信)など代々の命日に肖像をかかげ、供養を行っていました。軍兵衛家でも同様にしていたことでしょう。肖像は家の年中行事において大切な役割を担っていました。

ふたつの「関之信肖像」は、6月26日(水)まで展示室2で展示しています。

関市立博物館(☎824・2928)